

<気になるスポット> 東京国際クルーズターミナル

月報委員会
委員長 深谷 昇

月報委員会の布川さんが湾岸署から紹介され、関野さんと私を伴い東京国際クルーズターミナルの見学に連れて行ってくれました。当日は東京港埠頭株式会社の市川さんにこの施設を丁寧に説明頂きましたのでご紹介いたします。

クルーズ客船の大型化が進み、レインボーブリッジ桁下52mをくぐれなくなった為レインボーブリッジの外に東京国際クルーズターミナルが造られました。2020年9月に開業、コロナ禍でずいぶん予定が狂って2023年3月からクルーズ客船の受け入れが始まりました。昨年40隻入港、今年も順調にクルーズ客船の受け入れが予定されています。岸壁延長430m、水深11.5mエプロン幅30m、ターミナルビル4階建て、延べ床面積19,000㎡この巨大で美しい施設は首都東京の新たな海の玄関口として江東区青海の海上に在ります。(近くに船の科学館、湾岸警察署、日本科学未来館、東京税関等)

1階のエントランスには屋根が架かっており、雨が降っても濡れずにタクシーや大型バスに乗ることができます。

2階3階は到着ロビー・出発ロビー、待合スペース。船の大きさに合わせて備品を入れ替えフレキシブルにレイアウトを変化させて使用します。下船の際は税関、出入国管理、検疫などを行うCIQ検査スペースに、乗船の際はチェックインスペースに臨機応変に変化させます。

4階は船のお見送りをする為の広い展望デッキに成っています。今日は風もなくとても暖かで4階デッキからはゆっくりと東京の港湾が一望できました。東京タワー、レインボーブリッジ、品川埠頭・大井コンテナ埠頭、海ほたる等素晴らしい眺めが広がります。

クルーズ客船は1隻最大5000人の乗客に2000人～3000人のクルーが乗っています。1つの町が動いて来るイメージです。5000人の乗客が下船し、観光に行く人羽田や成田から自分の国に帰る人、東京は利便性が高いので地方の港と違い乗客は様々な動きをします。

3日間停泊だと、初日観光及び帰国等の為下船。2日目新しく乗船するお客様の受け入れ。3日目は乗ってきたお客様が観光に出発、又観光から帰って来るといった動きをするそうです。

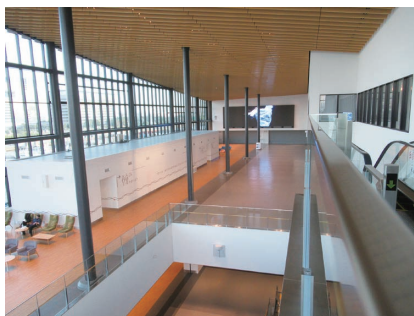
移動手段である乗り物(タクシー、ハイヤー、バ



東京国際クルーズターミナル



1階エントランス



広々としたロビー



ロビーの眺め



展望デッキ



ここから船を見送ります



多摩産材の応接セット



船内風の照明



ドラマ撮影で使用されることも

ス)が少ないと出口から人が出られず、乗客が船から降りられなくなります。帰国する人も多いので羽田行き成田行きのリムジンバスを用意する。船の依頼でツアーを組み観光バスを手配する。豪華客船はタクシーを利用する人も多いのでタクシー会社に寄港する客船の情報提供をする。ラグジュアリーかカジュアルかお客様の層を想定してこれくらいの台数のタクシーが必要、とX(旧Twitter)でも発信する。(2000人の乗客だとおよそ150台ものタクシーが必要になる。)

施設上の問題も多々あり、下船する際は2階もしくは3階の入国審査、税関等を通らなければならない、何時間も待たせると東京港の評判が落ちて客船が東京には行きたくないと成る。到着ロビーを通過するとハイヤーや旅行会社が旗を持って待っているが待合所はそれほど広くない。1階に下りるにはエレベーターかエスカレーターを使う必要がある、大きいトランクを持っているとエスカレーターは使えないがエレベーターは3基しかない。東京国際クルーズターミナルは多層階なので動線が長い。長旅を楽しまれる方は高齢者が多いのできめ細かい配慮(サービス)が必要等、多々有る問題を東京国際クルーズターミナルはこうですよとあえてネガティブな情報も出し、うまくお客様を誘導する為にはこうして下さいとクルーズ客船に協力をお願いする事もする。スムーズにお客様を誘導し上手に東京を通過して貰う(海に出てもらう)ことに日頃から頭を悩ませている。と市川さんが仰っていました。

クルーズ客船の入港が無い時はイベントに貸し出しも行っています。ドラマの撮影に使われる事も多いけれども、クルーズターミナルとしての撮影では無く、空港を想定しての撮影に使われる事がほとんどらしいです。船の入港は電車と違って1日2日ずれることが多々有り、前の停泊地の天候が悪く港に入れない時は直に東京に来てしまったり、遅く成ったりすることがあるので、あまりタイトなスケジュールでの貸し出しはできないのが残念とのことでした。

見学させて頂いた時はクルーズ客船の寄港は有りませんでした、何人か遊びに来ている人がいました。散歩がてら来るファミリーも多いとのこと。デートで来る若い人も多いのではないですかと聞くと、この施設には飲食店が無いのであまり若い人は来ないとのこと。まだまだ知られていないので穴場です。素晴らしい眺望を眺めながらゆっくりと過ごせますし、綺麗な館内には多摩産材で作った椅子があちこちに有りますのでゆったりと過ごせます。人があまり居ないので静かに本を読むこともできそうです。是非散歩がてら行って見たら如何でしょうか。今年のお薦めスポットです。



ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか